

平成
29年度

わたしたちの「越前町」の決算報告



わたしたちの予算が「まちづくり」のためにどのように使われた(決算)かを報告します。

(単位:千円)

区 分			歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引残額 (A) — (B)
会 計			(A)	対前年度比 (%)	(B)	対前年度比 (%)	
一 般 会 計			14,141,183	1.2	13,106,029	▲0.4	1,035,154
特 別 会 計	国民健康保険事業		2,584,607	0.1	2,550,312	▲0.9	34,295
	介護保険事業		2,337,907	1.1	2,314,568	2.0	23,339
	後期高齢者医療事業		248,983	6.6	244,853	7.1	4,130
	簡易水道事業		389,667	▲11.8	385,620	▲11.5	4,047
	公共下水道事業		662,222	4.9	654,858	4.8	7,364
	集落排水事業		335,878	▲7.0	330,945	▲6.7	4,933
	温泉事業		26,696	41.1	26,528	65.9	168
	農林漁業体験実習館事業		25,126	▲7.1	25,126	▲7.1	0
	土地区画整理事業		64,028	▲57.5	64,028	▲54.0	0
	企業会計	上水道事業	収益的収支	270,365	0.3	260,606	1.9
資本的収支			6,887	▲71.5	152,840	▲9.7	▲145,953
国民健康保険病院事業		収益的収支	326,994	2.0	320,329	1.9	6,665
		資本的収支	45,857	9.2	122,233	▲3.8	▲76,376
合 計			21,466,400	0.4	20,558,875	▲0.6	907,525

※決算額の千円未満を四捨五入しています。

■一般会計・歳入決算状況

平成29年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳入総額は214億6,640万円で、前年度より7,532万円の増、歳出総額は205億5,887万5千円で、前年度より1億2,743万2千円の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた収支は、9億752万5千円の黒字となりました。

そのうち、教育や福祉、土木など一般的な行政運営をまかなう一般会計では、歳入が141億4,118万3千円で、前年度より1億6,635万4千円の増(1.2%増)、歳出が131億602万9千円で、前年度より4,644万8千円の減(0.4%減)となりました。

■一般会計・歳入決算の状況

一般会計の歳入総額は、前年度と比べて1億6,635万4千円増加しました。

増加した要因として、町が積み立てた基金を取り崩し、一般財源に繰り入れたことなどにより、繰入金金が4億2,827万4千円の増(87.1%増)となりました。

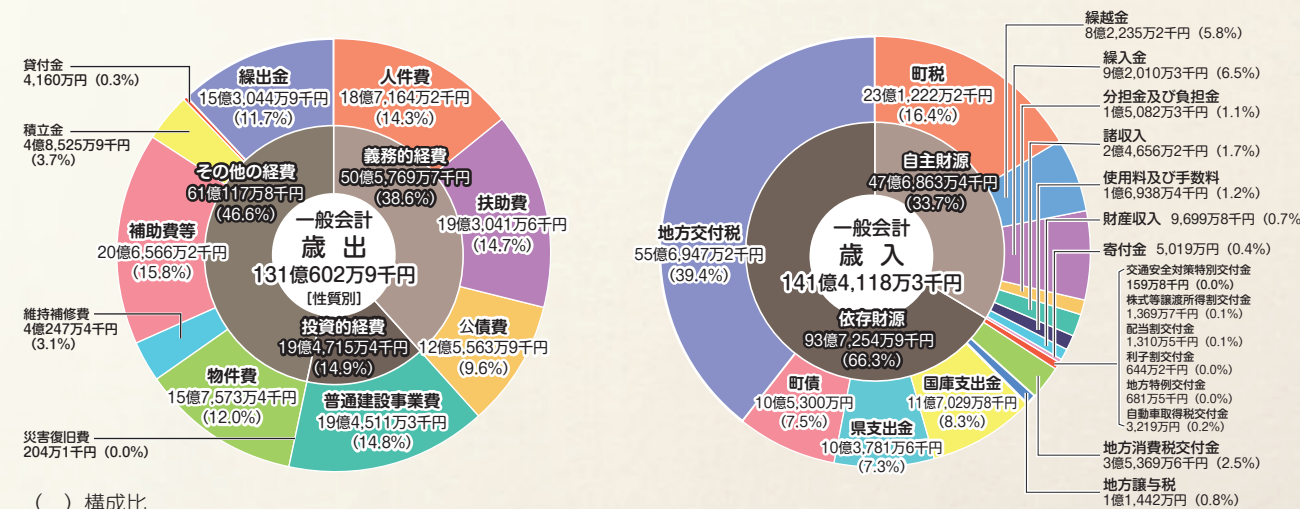
また、道路の改良や消雪設備の整備、除雪事業などに対する国からの交付金や補助金により、国庫支出金が2億2,746万6千円の増(24.1%増)となりました。

■一般会計・歳出決算の状況

一般会計の歳出総額は、前年度と比べて4,644万8千円減少しました。

減少した要因として、町債の現在高を着実に減少させてきたことにより、公債費が1億5,815万3千円の減(11.2%減)となりました。

また、統合学校給食センターの建設や人工芝ホッケー場の改修など大型事業を行いました。前年度の越前がにミュージアムの改修や小・中学校における太陽光発電設備の整備の完了による減少額が大きく、普通建設事業費が2,857万5千円の減(1.4%減)となりました。



快適で安全に住めるまちづくり

●防災体制の強化

デジタル防災行政無線の放送内容を迅速かつ正確に住民が聴きとれるよう、織田地区の世帯を中心に戸別受信機を整備しました。

1億3,195万4千円

●人に優しい道づくりの推進

安全・安心に通行できる道路を確保するため、国の補助金を活用しながら、町道の改良や維持補修、消雪設備の整備などを行いました。

4億9,169万2千円

●災害に備えた危険対策の強化

津波、高潮、波浪による災害に備え、越波被害を最小限に抑えるため、白浜(城崎)漁港の護岸堤のかさ上げ工事を行いました。

3,165万9千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

●健康管理意識の啓発

町民の健診受診や健康づくりの取り組みが習慣化されるよう、ポイントに応じて記念品と交換できる「えちぜん健康チャレンジ」を導入するなど、健康増進への啓発を促しました。

102万1千円

●保健・福祉環境の充実

利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、越前地域福祉センターの空調設備の入れ替えやデイスーパー浴槽の修繕を行いました。

2,775万2千円

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

●学校給食センターの統廃合

越前町統合学校給食センター(仮称)の稼動に向け、施設の建築工事や機械設備などの整備を行いました。

2億8,018万円



▲4地区の学校給食を提供できるよう配慮された統合学校給食センターの外観図

●国際的・全国的なスポーツ交流の推進

「福井しあわせ元気国体」ホッケー競技の会場となる、町立人工芝ホッケー場の芝の張り替えや県立ホッケー場管理棟の防水工事をしました。

1億5,935万4千円

元気で活力みなぎるまちづくり

●越前焼の多面的な活用

越前陶芸村に開設した越前古窯博物館を拠点として、陶芸村を活性化させていくため、周辺整備を行いました。また、認知度向上および販路拡大・商品開発などを支援しました。

4,218万3千円



▲越前焼の貴重な資料を展示した越前古窯博物館

●農業生産基盤の整備

農村の圃場整備や水路改修などは事業費が膨大なため、国・県の補助を活用しながら、農道の舗装や用排水路の改修を行い、農村基盤の向上を図りました。

5,183万1千円

●就労環境の向上

第1次産業の新たな担い手を確保するため、資格・技能習得に対する補助や研修生へ無償で専用住宅を提供するなど、就労への支援を行いました。

109万2千円

個性豊かで誇りのもてるまちづくり

●再生可能エネルギーの理解促進

国の補助事業により、ブローホル波力発電システムのタービン装置の改良を行いました。また、施設の見学会や小学校での出前授業を行い、地元住民の理解を深めました。

9,031万5千円



▲世界唯一の波力エネルギーを利用した発電装置(小樽地係)

●観光客の受入体制の充実

「おもてなし商業エリア」における個人店舗の改修費用の補助や、小規模事業者がクレジット決済端末機を導入した費用に対して補助を行いました。

1,655万7千円

町民に開かれた健全行政のまちづくり

●町政情報の積極的な発信

町のホームページや広報えちぜんの内容を充実させるとともに、ケーブルテレビやコミュニケーションアプリ「LINE」など多様な情報媒体を用いて町政情報を発信しました。

1,029万6千円

平成29年度決算の越前町の財政指標

財政指標区分	越前町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	黒字のため健全	13.77%	20.0%
連結実質赤字比率	黒字のため健全	18.77%	30.0%
資金不足比率	全会計で資金不足無し	20.0%	—
実質公債費比率	8.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	7.2%	350.0%	—

健全化判断比率と資金不足比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、各年度決算に基づき算定されます。この比率には、法律で定められた早期健全化基準や経営健全化基準があります。比率のいずれかが基準を超えた場合は、財政健全化計画や経営健全化計画を策定し、財政の早期健全化や公営企業の経営の健全化を図らなければなりません。

越前町の平成29年度決算ではすべての比率が基準を下回り、財政は「健全」となっています。

わたしたちのまちの財政状況

平成29年度決算の健全化判断比率と資金不足比率は「健全」

■実質公債費比率は8.2%

「実質公債費比率」とは、町債（借金）の返済額などが標準財政規模（※）に占める割合です。町債の返済額などには、一般会計だけでなく、上下水道・病院の公営企業会計、ごみ・し尿処理や消防の業務を行う一部事務組合に対する町からの負担金のうち、団体の借金の返済に充てられたとみられる額も含まれています。この比率が高いほど、町に対する借金に係る負担が大きいこととなります。

町では、これまで借金の繰り上げ返済や金利の低い借金への借り換え、事業の計画的な実施により借金を減らしてきました。

この結果、実質公債費比率は、平成29年度決算では8.2%となり、ピーク時の平成18年度と比べ16.6ポイント、前年度と比べ0.9ポイント改善しました。

（※）町税や普通交付税、各種譲与税・交付金など、使途が限定されない通常の年間収入の合計額

■将来負担比率は7.2%

「将来負担比率」とは、町全体の借金額（将来負担額と呼ぶ。）が標準財政規模に占める割合です。将来負担額は、次のものの合計です。

- 町債（借金）の残高
- 上下水道・病院の公営企業会計の借金の返済に充てる一般会計などの負担見込額
- 職員の退職手当支給予定額

一方、基金（貯金）の残高など（充当可能財源と呼ぶ。）があれば、将来負担額から控除することになります。

この比率が高いほど、現在背負っている借金などが将来財政を圧迫する可能性が高いこととなります。

町では、町債の残高の縮減や財政調整基金への積み立てにより将来的な負担の軽減を図ってきました。

この結果、将来負担比率は、平成29年度決算では7.2%となり、平成19年度と比べ144.2ポイント改善しました。しかし、前年度と比べたところ、充当可能財源が減少したため、5.3ポイント悪化しました。

平成30年度9月補正予算の概要

予算規模

	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	133億9,533万7千円	1億8,365万5千円	135億7,899万2千円
特別会計	61億8,990万5千円	9,894万9千円	62億8,885万4千円
事業会計	8億8,201万9千円	4,467万2千円	9億2,669万1千円
合計	204億6,726万1千円	3億2,727万6千円	207億9,453万7千円

【主な補正内容】

■西徳寺保育園の認定こども園への移行に伴い、移転・改築費に対する補助費用を計上

（5,492万1千円）

■統合学校給食センターの備品購入費と旧4センターの解体に係る工事設計委託料を計上

（1,189万5千円）

■役場窓口で手話の遠隔通訳に対応するため、タブレット端末の導入に要する費用を計上

（28万5千円）

9月補正予算の補正額は、次のとおりです。

越前かに太郎の家計簿

2ページの「平成29年度一般会計決算の歳入額と歳出額（性質別）」を1,000分の1にし、「越前かに太郎」の1年間の家計に置き換えてみました。

収入

①給料	231万円
・町税（町民税や固定資産税など、みなさんから納められた税金）	
②財産・臨時収入	72万円
・使用料（町の施設や設備の利用料など）	
・負担金（町の事業で利便を受ける人が負担するお金）	
・諸収入（貸付金の元利収入や団体・個人からの負担金など）	
・財産収入（町の土地などの売却代金）	
・寄附金（個人や団体から寄附されるお金）	
③貯金の取崩し	92万円
・繰入金（町が積み立てているお金（基金）の取崩しや特別会計・企業会計から受け入れるお金）	
④前年度の残金	82万円
・繰越金（前年度決算からの繰越金）	
小計（A） ※自主財源	477万円
⑤支援金	832万円
・地方交付税（国から交付されるお金）	
・国・県からの補助金（法律などに基づく交付金や事業の実施に対する補助金）	
⑥借入れ	105万円
・町債（銀行などからの借金）	
小計（B） ※依存財源	937万円
収入合計（A）+（B）	1,414万円

支出

①生活費	551万円
・人件費（各種委員の報酬や職員給与に係るお金）	
・物件費（施設の管理費や事業の委託料など）	
・補助費等（団体などに対する負担金や補助金）	
②医療費	193万円
・扶助費（子どもや高齢者、障がい者の福祉などに係るお金）	
③借金の返済金	126万円
・公債費（町債の元金及び利子の支払いに係るお金）	
④家の増築や車の購入費	195万円
・普通建設事業費（町の施設や道路などの新・増築や大規模な設備の購入に係るお金）	
・災害復旧費（自然災害により被害のあった道路や河川などの復旧に係るお金）	
⑤修繕費	40万円
・維持補修費（町の施設の修繕に係るお金）	
⑥子どもへの仕送り	153万円
・繰出金（特別会計や事業会計に支出されるお金）	
⑦貯金	49万円
・積立金（基金に積み立てるお金）	
⑧知人への貸付金	4万円
・貸付金（団体などに対し貸し付けるお金）	
支出合計	1,311万円

■町債（借金）と基金（貯金）の年度末現在高の推移

